

いくしゅんべつがわ
幾春別川総合開発事業の検証に係る検討

報告書 補足資料

平成 25 年 1 月

国土交通省北海道開発局

目 次

1. 流域及び河川の概要	1
過去の主な洪水	1
治水事業の沿革	1

1. 流域及び河川の概要

過去の主な洪水

石狩川流域では、三笠・岩見沢市等に大きな被害をもたらした昭和 41 年 8 月洪水、当時の計画規模に迫る洪水により多大な被害に見舞われた昭和 50 年 8 月洪水、当時の計画規模を上回る未曾有の洪水となった昭和 56 年 8 月上旬洪水等、古くから度々洪水被害（表 1-1 参照）を受けている。洪水による浸水状況の写真を以下に示す。

表 1-1 主な洪水（被害状況）

洪水発生年月	気象原因	代表地点雨量 (mm/3日)	石狩大橋地点 観測流量(m³/s)	被害注)
昭和 36 年 7 月	低気圧・前線	札幌 旭川 140 125	4,515	被害家屋約 23,300 戸 浸水面積約 523km² 死者 11 名
昭和 37 年 8 月	台風・前線	札幌 旭川 203 95	4,410	被害家屋約 41,200 戸 浸水面積約 661km² 死者 7 名
昭和 41 年 8 月	前線	札幌 旭川 58 62	4,529	被害家屋約 9,600 戸 浸水面積約 260 km² 死者 5 名
昭和 50 年 8 月	台風・前線	札幌 旭川 175 193	7,533	被害家屋約 20,600 戸 浸水面積約 292km² 死者 9 名
昭和 56 年 8 月上旬	低気圧・前線 ・台風	札幌 旭川 294 296	11,330	被害家屋約 22,500 戸 浸水面積約 614km² 死者 2 名
昭和 63 年 8 月	停滞性前線	札幌 旭川 66 119	5,759	被害家屋約 2000 戸 浸水面積約 65km²
平成 13 年 9 月	前線・台風	札幌 旭川 153 169	6,598	被害家屋約 70 戸 浸水面積約 38km²

注) 災害記録（北海道）等より北海道開発局作成。被害には、土砂災害を含む場合がある（昭和 56 年 8 月上旬は土砂災害を含み、昭和 63 年 8 月、平成 13 年 9 月は土砂災害を含まない。昭和 50 年以前は不明。）。また、被害には、外水被害、内水被害がともに含まれる。



写真 1-1 昭和 41 年 8 月洪水
(三笠市多賀町)



写真 1-2 昭和 50 年 8 月洪水
(石狩川左岸豊幌築堤・江別市)



【昭和 41 年 8 月 24 日 北海道新聞】



写真 1-3 昭和 56 年 8 月上旬洪水
(江別市豊幌・岩見沢市幌向周辺)

治水事業の沿革

石狩川水系では、明治 31 年に北海道治水調査会が設立され、本格的な治水事業に着手して以来、改修計画を上回る洪水の発生を契機に改修計画が見直されてきた（表 1-2 参照）。平成 16 年 6 月には石狩川水系河川整備基本方針、平成 18 年 3 月には石狩川水系幾春別川河川整備計画、平成 19 年 9 月には石狩川水系石狩川（下流）河川整備計画を策定し、その中で現在の幾春別川総合開発事業を位置づけている。

表 1-2 石狩川における治水事業の沿革

西暦	年号	計画の変遷等	主な事業内容
1898	明治 31 年	・台風により被災(9月)	・北海道治水調査会が設立され、本格的な治水事業に着手
1904	明治 37 年	・台風・前線により被災(7月)	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 期工事(明治 43～昭和 8 年) ・第 2 期工事(昭和 9～15 年) ・第 3 期工事(昭和 16 年～) ・桂沢ダム(昭和 26～32 年) ・金山ダム(昭和 36～42 年)
1909	明治 42 年	石狩川治水計画調査報文 計画流量 8,350m³/s	
1922	大正 11 年	・台風により被災(8月)	
1961	昭和 36 年	・低気圧・前線により被災(7月)	<ul style="list-style-type: none"> ・豊平峡ダム(昭和 42～47 年) ・大雪ダム(昭和 43～50 年) ・石狩放水路(昭和 47～57 年) ・漁川ダム(昭和 49～55 年) ・激甚災害対策特別緊急事業(昭和 50～54 年) ・定山溪ダム(昭和 53～平成元年) ・激甚災害対策特別緊急事業(昭和 56～61 年) ・滝里ダム(昭和 58～平成 11 年) ・忠別ダム(昭和 59～平成 19 年) ・幾春別川総合開発事業(昭和 60 年より実施計画調査に着手) ・砂川遊水地(昭和 62～平成 7 年) ・幾春別川総合開発事業(平成 2 年より建設事業に着手) ・幾春別川新水路事業(平成 3～18 年) ・夕張シューパロダム(平成 7 年～)
1962	昭和 37 年	・台風・前線により被災(8月)	
1965	昭和 40 年	石狩川水系工事实施基本計画策定(4月) 基本高水のピーク流量 9,300m³/s 計画高水流量 9,000m³/s	
1966	昭和 41 年	・前線により被災(8月)	
1975	昭和 50 年	・台風・前線により被災(8月)	
1981	昭和 56 年	・低気圧・前線・台風により被災(8月)	
1982	昭和 57 年	石狩川水系工事实施基本計画改定(3月) 基本高水のピーク流量 18,000m³/s 計画高水流量 14,000m³/s	
1988	昭和 63 年	・停滞性前線により被災(8月)	
2001	平成 13 年	・前線・台風により被災(9月)	
2004	平成 16 年	石狩川水系河川整備基本方針策定(6月) 基本高水のピーク流量 18,000m³/s 計画高水流量 14,000m³/s	
2006	平成 18 年	石狩川水系幾春別川河川整備計画策定(3月) 目標流量 1,100m³/s 河道への配分流量 700m³/s	
2007	平成 19 年	石狩川水系石狩川(下流)河川整備計画策定(9月) 目標流量 14,400m³/s 河道への配分流量 11,700m³/s	

石狩川治水計画調査報文の計画流量、石狩川水系工事实施基本計画及び石狩川水系河川整備基本方針の基本高水のピーク流量・計画高水流量、石狩川水系石狩川(下流)河川整備計画の目標流量・河道への配分流量は、いずれも石狩大橋標準地点の値。また、石狩川水系幾春別川河川整備計画の目標流量・河道への配分流量は、いずれも西川向標準地点の値。